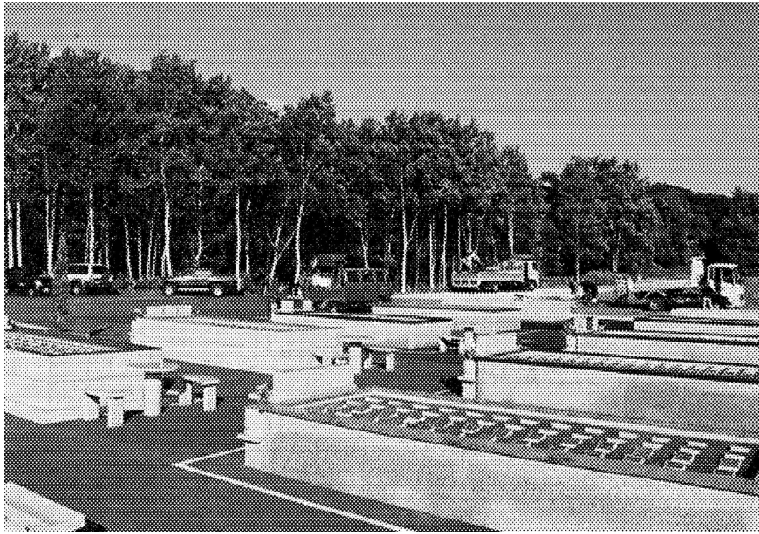


三笠の北海道中央霊園

# 昨春開園の樹木葬人気

1年余で需要に対応して増設工事  
550件以上

【三笠】市内大里の北海道中央霊園が、昨年5月に開園した樹木葬「Forever(フォーエバー)」が人気だ。今年7月末現在で550件以上の申し込みがあった。うち7割は生前予約者で、墓じまいによる改葬も多いという。同霊園では現在、増設工事を進めており、高まる需要に対応する考えだ。



樹木葬「Forever」は、長方形の埋葬スペースを用意し、地面から70センチの高さに石の墓標を置き、遺骨はその下にあるカロート(埋葬するスペース)に永久埋葬される。周囲にサクラの木などを植樹した。他人と合葬されることのない個別埋葬方式で、1体用、1〜9区分が完成した樹木葬

【末永直樹】

2〜3体用、4〜5体用の3タイプがある。永代供養が付き、1体当たりの総額を5・5万円〜8万円と低価格に抑えたのが特色。樹木葬はすべて霊園が管理するため、継承者がいなくても無縁化する心配はない。墓掃除の必要もなく、追加費用は一切かからない。同霊園によると、2〜3体用は夫婦の生前予約が多く、4〜5体

用は同霊園以外の墓地や納骨堂からの改葬が目立つという。1体用は特に女性からの強い要望を受け、7月に開設した。付近まで車で乗り入れられることや、高齢者に配慮したバリアフリー設計で車いすに乗ったままでもお参りできる点なども人気の理由という。

樹木葬は既に1〜9区分が完成し、現在は10〜12区分の工事を進め、お盆明けには完了の予定。同霊園の武田寛理事長は「近年はお墓を維持できないという相談が非常に多く、永代供養付きの個別埋葬を求めるニーズも潜在的にあった。今後も多様化するニーズに対応していきたい」と話している。